

竜舌蘭



学校だより
7月号
喜界町立早町小学校
令和4年7月14日発行

1学期を振り返って

校長 長田 正浩

今年は昨年よりも梅雨明けが早く、それとともに猛暑がやってきました。新型コロナウイルス感染予防とともに熱中症予防にも努めましょう。また、先日は、台風4号が通過しましたが、喜界島では大きな被害もなく胸をなでおろしたところです。台風や地震など、災害への備えを日常から心がけておくことも大切です。



さて、間もなく1学期が終了します。1学期を振り返って特に心に残ったのが、修学旅行を実施したことです。新型コロナウイルスの影響で、一昨年度は延期を繰り返し、最終的には6年生だけで奄美への日帰り修学旅行となりました。また、昨年度も延期を繰り返し、最終的には6年生だけで1泊2日の島内修学旅行となりました。そして、今年度は5・6年生合同で例年と同じ場所（鹿児島市）への3泊4日の修学旅行を3年ぶりに実施しました。

コロナ禍前の修学旅行との大きな違いは、検温（健康観察）と手指消毒を繰り返し実施したことです。船や宿泊施設、見学施設などで検温（健康観察）と手指消毒を10回以上行いました。でも、発熱や体調不良を訴える子は一人もいませんでした。また、宿泊施設や見学場所での行動や態度も立派でした。子どもたちのたくましさや頼もしさをとても感じました。思い出に残る修学旅行になったと同時に、子どもたちが心身共に大きく成長した修学旅行となりました。

まだまだコロナ禍は続きますが、これからも感染予防に気をつけながら、行事等を実施していきたいと考えています。今後とも、保護者・地域の方々の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

子どもたちの見守りをお願いします

7月21日（木）から8月31日（水）まで、子どもたちは夏休みです。長期休みになると心配するのが子どもたちの事故です。

昨年度も、お伝えしましたが、私には、夏休みが近づくたびに思い出す忘れられない出来事があります。それは、過去に勤務していた学校で、夏休みに入っすぐに、1年生の児童が市営プールで溺れて亡くなってしまったという悲しい事故が起きたことです。学校には「子どもたちだけでプールや海に行ってはいけない。」という決まりがあったのですが、3年生のお兄さんと1年生のその子だけでプールに行き、その悲しい事故は起きてしまったのです。校区全体が悲しみに包まれたとても悲しい出来事でした。

先日、早町小学校で校区水難事故防止対策会議を行いました。PTA代表や集落の区長さん、少年団の指導者の方々、喜界幹部派出所の濱崎所長さんや早町駐在所の有馬さんなど、たくさんの方々が出席し、子どもたちを事故から守るために意見交換を行いました。出た意見は、後日開催したPTAで保護者へも周知を凶ったところです。特に、海水浴やつりには、必ず保護者と一緒に行くことなどを、学校でも指導しています。家庭や地域での声かけや見守りをどうかよろしくお願いいたします。地域の宝でもある子どもたちを、みんなで守っていきましょう。



日（曜）	行 事
1日（月）	出校日 愛のパトロール
11日（木）	【祝日】山の日 リフレッシュウィーク（～17日）
15日（月）	学校閉庁日（～17日）
18日（火）	第2回PTA役員会 愛のパトロール
19日（金）	出校日 運動会運営委員会
21日（日）	ふるさと美化活動
26日（金）	PTA評議委員会
27日（土）	やる気塾
28日（日）	第2回PTA愛校作業

学校関係者評価委員会

6/22（水）に令和4年度第1回学校関係者評価委員会を行いました。

開会にあたって、町教育委員会からの委嘱状をお渡ししたあと、今年度の学校経営や特色ある教育活動について説明を行い、御意見をいただきました。学校関係者評価委員会は年3回実施します。評議員の皆さんの御意見を学校経営に生かしていきたいと思ひます。



喜界町教育委員会学校訪問



6/28日（火）には、喜界町教育委員会による学校訪問がありました。学校経営説明や質疑応答、授業参観、諸帳簿の点検等がありました。授業参観の感想で、「子どもたちの発表を聞く姿が素晴らしいですね。」「先生方と子どもたちとのやり取りが楽しそうですね。」など、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。お忙しい中、御来校いただきありがとうございました。

水泳参観・学級PTA

7月7日（木）には、水泳参観・学級PTAを実施しました。天気にも恵まれ、子どもたちの水泳学習の成果を保護者の皆さんに見ていただくことができました。

下学年は、すっかり水に慣れてきたようで、個人や集団での発表を見せてくれました。上学年は、力強い泳ぎに加えて、みんなで水球を楽しむ姿も見せてくれました。

夏休みには、2日間ですが「水泳教室」も実施します。これからも、いっぱい練習して泳力を伸ばしてほしいです。



アサギマダラの学習

校舎裏のホウライカガミには、たくさんのオオゴマダラの幼虫や蛹がいて、子どもたちや来校者を楽しませてくれています。

3年生は、総合的な学習の時間で「喜界島の自慢」をまとめて発表する活動を行っています。その活動の一つとして、チョウの観察を行っています。7月1日（金）には、喜界島在住の福島さんを先生に迎えて、アサギマダラの生態について学習しました。アサギマダラは、今の時期は、北上して姿を見かけることは少ないようですが、秋になると本土から海を越えてやってくるそうです。中には千数百kmもの距離を移動してくる個体もいると言われています。福島さんの話を聞いて、子どもたちの興味・関心がますます高まっていました。これからもオオゴマダラの観察や秋からのアサギマダラの観察を楽しんでほしいです。福島さん、貴重なお話をありがとうございました。



特定外来生物に関する学習

7月9日（土）には、5・6年生が環境省奄美野生生物保護センターの皆さんと一緒に、特定外来生物の「ボタンウキクサ」の学習と防除作業を行いました。

子どもたちは、外来種がその土地に与える影響や外来種問題が人間の責任であることなどの説明を真剣な表情で聞いていました。防除作業では、子どもたちも池の中に入り、大きなボタンウキクサを引き抜いて、袋に詰めていきました。

ボタンウキクサは繁殖力が非常に強く、少し残っているだけでもあっという間に、水面を覆いつくしてしまうそうです。そうすると、他の植物の光合成を妨げるなど、在来の植物や生き物に悪影響を及ぼすこととなります。子どもたちの頑張りによって一つの池の環境を守ることができました。

今回の学習を通して、喜界島の豊かな自然を大切に、守っていこうという気持ちが一層強くなった子どもたちでした。



三校交流学習会

7月12日（火）、早町小・喜界小・喜界中の特別支援学級在籍の子どもたちが喜界小に集まって交流学習会を行いました。

交流学習会では、お互いに自己紹介をしたり、キーホルダー作りをしたりして、他校の友だちと交流を深めました。

2回目は、早町小での開催となります。喜界小・喜界中の子どもたちに楽しんでもらえるよういろいろな企画を考えていきたいと思っています。



プルタブ回収の御協力をお願いします



本校では、ボランティア活動の一環として、アクティブ委員会が「プルタブの回収」に取り組んでいます。

車いすを寄贈するには、160万～180万個のプルタブが必要です。委員会の子供たちが校内での呼びかけを頑張っています。

寄贈への道のりは長いですが、頑張っている子ども達のために、保護者、地域の皆様の御協力をよろしくお願いします。

7月14日は「県民の日」



7月14日は「県民の日」でした。

明治150周年を記念し、平成30年12月に「県民の日」（7月14日）が制定されました。これは、鹿児島県が誕生した明治4年の廃藩置県布告日が7月14日であったことに由来します。

本校では、子どもたちにも「県民の日」を知ってもらうために、朝の活動でDVDを視聴したり、5・6年生が「かごしまジュニア検定」にチャレンジしたりしました。今回の活動を通して、子どもたちが郷土「鹿児島」のことを知り、もっと好きになってくれたら嬉しいです。

